



かけはし

長沢中たより 平成30年4月27日(金)

No. 1 校長 吉川 和良

学校教育目標：自己を高め 他を思いやり 自立できる生徒を育てる

第34回 入学式

例年がない早咲きの桜の中、4月5日(木)保護者・地域のみなさまに見守られ入学式を迎えることができました。会場は穏やかな春の温かさに包まれ、これから始まる中学校生活への緊張感と希望にあふれていました。本校の生徒として、自信と責任を持った行動をし、将来社会人として貢献できるよう、自分自身を高めていくことを期待しています。新入生136名、2年生152名、3年生153名、全校生徒441名で創り上げた最初の行事でした。

新入生代表の言葉 丹羽柊路くん

「希望」この言葉を胸に、僕は今日長沢中学校の門をくぐりました。

勉強や部活動など、ちゃんとやっていけるか不安もありますが、新しい制服に袖を通し、今までと違う生活に、どんな生活が待っているのだろうと期待に胸がふくらみます。

僕が中学校生活で楽しみにしていることの 하나가合唱です。説明会で先輩方が歌ってくれた合唱が、とても上手でびっくりしました。一人では作り出せないハーモニーを僕も長沢中学校で出会った仲間と一緒に作っていきたいと思いました。合唱で作った団結力を他の行事にも活かしていきたいです。

3年間の中学校生活は、きっとあつという間に過ぎていくと思います。何事も悔いが残らないように、一日一日を大切に過ごしていきたいです。すぐには無理かもしれませんが、自分の考えや目標をしっかりと持って積極的に歩んでいけるようにがんばります。



横須賀市中学校総合体育大会

大会スローガン『咲きほこれ

努力の結晶 夢の花』のもと、第67回横須賀市中学校総合体育大会(中総合)開会式が4月21日(土)市立横須賀総合高校 SKY アリーナで行われました。市内24校の中学生が集まる中、本校代表生徒は練習の成果を発揮し、立派な行進を披露してくれました。

前日の壮行会では『自分との戦い』について話をしました。「弱気になる自分」、「あきらめてしまう自分」そして「一生懸命頑張ることに抵抗を感じる自分」。この様な、自分としっかりと向き合い、練習の成果を発揮してほしいものです。



校長あいさつ

保護者・地域のみなさまに支えられながら、校長として3年目を迎えることになりました。また、日頃より本校の教育にご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。

本校では今年度、「2, 3年生の家庭訪問は保護者の希望」「2年生職場体験は6月に実施」「3年生福祉体験を職場体験に吸収」「3年生は7月三者面談で五教科(国語・社会・数学・理科・英語)の成績を提示」など、教育課程の見直しを行いました。新学習指導要領を見据え、生徒が学習や行事を通して得る「学び」の充実を図る為の時間確保とそれによる主体的な活動の推進をねらいとしています。

生徒が過ごす3年間の中学校生活が希望や達成感に満ちあふれた日々になることを願っていますが、現実には幾つかの課題に直面し、時には思うとおりにならないことに生徒は歯がゆさを感じることがあります。しかし、その様な時こそ成長していくためのチャンスです。どのように考えるかによって自分自身が変わり、行動が変わってきます。様々な体験を通して、社会の変化に主体的に向き合い、自らの可能性を発揮して、よりよい未来を切り開く力を身につけてほしいと願っています。

今年度もよろしくお祈いします。